

校長先生…何の用事
なんでしようか…きやつ!?
こ、校長先生!
何するんですか
やめてください!

ふふふ…ヘルエスタ君…
私はね、君の友人の大変なものを
見つけてしまったんだよ…

むいっ

えっ……？こ、これは……
美兎さん……？



そうなんだよ……
偶然見つけたんだ
こんな不純なことを
しているなんてねえ……

バレされたくないだろう？
尊敬する先輩のこんな姿を……
君がすべきことは……わかるね？

す……

ふっ♡♡キレイな身体だ♡
久々にこんな硬くなっているよ♡♡

ザジッ!

ビッ! ギョッ!

ふっ♡♡ふっ♡♡

ちよっ…ちよっ
待ってください
せめてゴムを…



んゝ瑞々しい
キツいまんこだ♡♡
激しくしても
壊れなさそうだな♡

んひいっつ!!?

ほらお前の若い身体を
味わわせろっ♡
じゅるるるっ♡

んむうっ!!?

ドチャッ!
ドチャッ!
ドチャッ!
ドチャッ!
ドチャッ!

ドチャッ!
ドチャッ!

王族だろうが
関係ないぞっ!
ちゃんとまんと締めて
先生にご奉仕しろっ!

んむうっ!!
んむうっ!!

ドチャッ!
ドチャッ!

じゅるるるっ!!
じゅるるるっ!!

出すぞっ！
王族まんこの子宮開いて
子種全部受け入れろっ！



数時間後――

ふう…年甲斐もなく
大量に出たな…♡
ふふ…一国の皇女が
もうただの雌のガキの
肉便器だ…♡♡

おいりぜ
写真を撮るぞ
イってないで
身体を起こせ



さあリゼ！
カメラに向かって
誓うんだ！♡

校長先生の慰み者として
どうぞお好きな時に
お使いください！♡

ふっっ♡はいっっ♡
私！●年●組の！
ヘルエスタ王国第二皇女の
リゼヘルエスタは！
校長先生の肉便器に
させていたきました♡

よし♡よくできたなりゼ♡
また硬くなってきたな！
今日はまだまだ使ってやるぞ♡

